

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。ご意見をお聞かせください。



しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会
News

第55号

2014年10月10日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部内資料

心新たに、5期目に挑戦!

◆「住民の声が届く議会への転換」実現に
全力を尽くします!

市議会議員 元木 美奈子

みなさん! 住民の暮らしが悲鳴を上げているいま、誰のための地方自治体なのか問われています。市は国保税の値上げを抑えるために行っている国保会計への一般会計からの繰り入れを減らし、昨年、国保税を大幅に引き上げる一方で税の取り立て強化が行われ、脅迫まがいの差し押さえが強行されています。

新年度から始まる子ども子育て新制度は、営利目的での多様な「民間参入」を増やし、保育士の配置や保育施設の水準引き下げをすすめるも

「9万に満たない年金の多くを税金や健保に払い、住まいもローンが終わっても毎月の管理費が重く、さらに今年度から値上がりする。家族も不安定な状況が続いている。『生活保護は受けられないからね』と言いかせ踏ん張っているが不安」

——日本共産党が今年実施した市民アンケートへの回答です。

アンケートには消費税増税で生活が経済的に厳しくなっている現状や震災復興の遅れ、老後の生活不安などを切実に訴える声や一刻の猶予もならない問題など、すぐにでも足を運び何とかしなければと議員としてじっとしていられないものまであります。

「9万に満たない年金の多くを税金や健保に払い、住まいもローンが終わっても毎月の管理費が重く、さらに今年度から値上がりする。家族も不安定な状況が続いている。『生活保護は受けられないからね』と言いかせ踏ん張っているが不安」

——日本共産党が今年実施した市民アンケートへの回答です。

アンケートには消費税増税で生活が経済的に厳しくなっている現状や震災復興の遅れ、老後の生活不安などを切実に訴える声や一刻の猶予もならない問題など、すぐにでも足を運び何とかしなければと議員としてじっとしていられないものまであります。



日本共産党・第41回 (11月1日~3日)

赤旗まつり

★前売り券発売中!



国民多数の願いを無視して暴走する安倍政権!
国民が主人公の政治を取り戻すために、日本の未来を展望する赤旗まつりが4年振りに行われます。「政治」も「音楽」も両方楽しめるプログラム・記念演説会など盛り沢山です。また、お楽しみ品の全国の名産品が一堂に並ぶ物産模擬店も、みなさんをお待ちしています。浦安後援会では、11月2日(日)に市川・浦安地区の広場に集まります。平和、安心、笑顔・・・「新しい日本が見えてくる」赤旗まつりに、お知り合いの方・ご家族の方と一緒に参加下さい。

- 日時 11月2日(日) 午前11時より
- 場所 新木場「夢の島公園」
(JR京葉線・新木場駅から徒歩5分)
- 前売り券(割引券)(3日間有効) 発売中
一般:2,500円、中・高・学生・70歳以上:2,000円
(小学生以下、障害者は無料です)
- 連絡先 元木 355-8526
(参加できる方は事前にお知らせ下さい)

のです。これらはいずれも国と自治体の公的責任を放棄し、住民に責任と負担を押し付ける国の悪政によるものです。自治体は「住民福祉の機関」であり、国の悪政の「下請け機関」であってはなりません。

みなさん! 暮らしが苦しくなり地域経済の疲弊が深刻になっている下で、地方議会と議員はどんな姿勢で地方政治に臨むか、そのあり方が問われています。チェック機能を活用し、市長による行政の私物化や無駄遣いをきちんとチェックし、清潔公正な議会、住民の多様な意見が活発に議論され、住民に情報と問題点を明らかにし、住民要求実現のために働く議会改革が必要です。

【浦安市に申し入れ】



日本共産党が実施した市政アンケートには、生活苦や震災復旧の遅れへの不満、将来の不安など切実な声が多く寄せられました。寄せられた回答の中から具体的な要望を所管別に取りまとめ(142項目)、9月30日市長公室に届けました。

みなさん! 来年4月に市議会議員選挙が行われます。私は、「暮らしと福祉最優先の市政」、「住民の声が届く議会への転換」実現のために全力を尽くします。心新たに5期目の挑戦です。再び議会へ送りだして下さい。

黄昏たそがれ

村上 ますえ

とぼとぼとホームへ向かう後姿を見送りながら
あなたが夕闇の中に吸い込まれていくように
頼りなくさびしかった
向かい合ったホームにいる私たち
このまま同じ時空を共有できなくなるのでは

ひと月前のあなたの便り
半月前のことが半年前になっていた
一字違いのことなのか
単純にそうとは思えなかった私
先ほどの別れ際

乗り換えに不安がるいつにないあなたにも
やはりと ふくらむ私の疑念

つい先刻まで木陰で語り合った二人だった
学生時代からの時を共有した話題を
その話題があなたの脳裏から消える
いや 私の脳裏からだって
いつ消えるかわからない
お互い見知らぬひとりひとりになって
共有の世界が消え失せる

まばらなホームに立つ私
深いたそがれの色がつつんでいく



私の故郷自慢

No. 6

◆ 私の故郷の春・夏 《山形県白鷹町》

幼少の頃は「蚕桑（こぐわ）村」と言って四方を山に囲まれた静かな里が私の故郷です。名の通り蚕が盛んなところでした。米沢藩の「質素を旨とする」が生活全般に生きていた村です。多くの家の周りには、垣根として「ウコギ」という木が植えられており、春先には、その若芽を摘んだお浸しが食前にのっていました。少し苦みのあるおいしい春の味です。県道から小路に入り、小路の突当りにお稲荷さんがあり、お稲荷さんの一番近くに我が家があります。

我が家の前は、土手になっており、土手の下には田圃が左右に広がっていて、田圃の奥に村の墓が見えます。後ろにあたる西山を除きぐるりと里の様子を見渡すことができます。前方には東山の裾野が広がっており、東山のふもとには最上川が流れています（いま



した)。夏場は泳いだり河鹿を捕ったりと、子供の生活には欠かせない場所でした。田圃の遠く左側に、鷹が大きく羽ばたいている姿の白鷹山が村の守り神のように大きくそびえています。私は、我が家から見る白鷹山が大好きです。
春 小さい頃の私は、雪解けを待ちきれずかなり急勾配な土手を歩き回り、小さな花を探し求めて楽しんでいました。あの純な姿が我ながらかわいらしくもあり懐かしく思い出されます。1時間ほど歩いたでしょうか。祖母に連れられて、

西山の麓に山菜採りによく連れていかれました。静かな山裾で、こごみ、わらび、みず、あずきなどを採るのですが、私は、漆と蛇などが怖くてなかなか採れませんでしたけれど。



夏 迎え盆には、田圃の1本道を、提灯に火を灯してお墓参りに行きかう人々の行列が線になって見えました。お盆には下駄と洋服を新調してもらうことができ、ウキウキした気持ちで墓参りの行列に加わります。墓参りに行く家族、済んだ家族同士がすれ違い際に言葉を交わしあい、久しぶりに帰郷した人々に逢える道でもありました。今は、誰もが車でサーッと墓参りを済ませてしまうので、風物詩のような情景は無くなってしまい寂しい限りです。 (児玉)

八国山ハイキング

狭山丘陵は、以前、宮崎駿監督が住み、アニメ「となりのトトロ」のモチーフになったとされています。トトロのふるさとを訪ね里山の緑地を歩きます。雑木林の緑が豊かで史跡も多いところです。参加をお待ちしています。

- 日時 11月9日(日) 午前8時集合 ★時間厳守
- 集合場所 新浦安駅改札口 ★雨天の場合は中止
- 持ち物 昼食、帽子、雨具、タオル、手袋、防寒具、飲料水、携行食(お好みで) ★歩きやすい服装で
- 行程 徒歩 約1時間30分(7.0km)
- 費用(交通費) 約2,000円
- 参加申込み 連絡先 元木 355-8526